

生徒会活動で活用する

本場面におけるポイント

●望ましい人間関係や集団活動を見つめる

「心のノート」の内容は、自他を見つめ、よりよい人間関係を築こうとする態度、生徒会の一員であるという自覚やその責任を果たして生活しようとする態度を育成していく上で有効である。

●自主的、実践的な態度を育む

異年齢集団による交流、ボランティア活動などは、道徳的実践の指導をする重要な場である。その活動と「心のノート」を関連付けることによって、よりよい学校づくりに参画しようとする意欲が高まる。



●望ましい人間関係を築くために生徒会活動の中で活用した事例

1 ねらい

学校生活を送る中で、自分たちの学級や学校に対して愛着や誇りをもつことは大切なことである。そこで、互いに協力してよりよい校風を樹立しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

2 活動と「心のノート」活用の実際

○よりよい学級について考える。

中学校用P.102を読み、自他を振り返らせ、「正義を実現するために自分ができること」に書き込み、それを基に学級活動で話し合う。

○生徒総会で提案する内容を考える。

書き込んだ内容を基に、中学校用P.118「この学校をよりよくするために」に書き込み、学級として提案する内容を考え、深める。



中学校用P.100～101

○「仲間づくり標語」を考える。

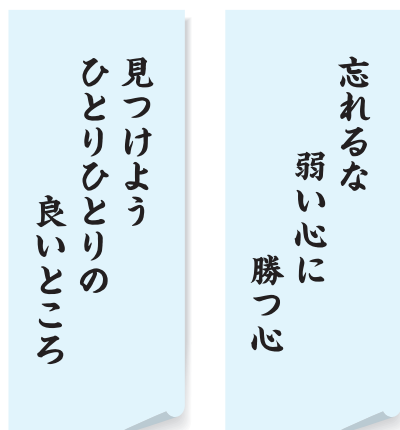
生徒会が主催して、よりよい仲間づくり、学校づくりのための標語を作る。

○作った標語や「心のノート」を掲示する。

生徒会委員会が、「仲間づくり標語」の優秀作品や「心のノート」を学級や学校掲示板などに掲示する。

○「この学校が好き」を創る。

中学校用P.116～117「この学校が好き」を生かし、生徒会執行部と学級代表で学校のよいところ、改善すべきところをまとめ、集会で発表する。それを受け、生徒会としてよりよい学校づくりに取り組む。



よりよい学校づくりに参画しようとする意欲が高まる「心のノート」

●自主的、実践的な態度を育むために生徒会活動の中で活用した事例

1 ねらい

学校生活を送る中で、自分たちの学級や学校に対して愛着や誇りを持ち、互いに協力してよりよい校風を樹立しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

2 活動と「心のノート」活用の実際

○先輩の学校に対する思いを知る。

上級生(2・3年生)は、中学校用P.117を読み、中学校用P.119「後輩に伝えていきたいこと」に書き込み、交流する。

○集会で先輩の思いを発表する。

書き込んだ内容を基に、「後輩に伝えていきたいこと」を生徒集会で発表する。

○よりよい学校づくりのために、自分たちは何ができるかを考える。

下級生(1・2年生)は、中学校用P.118「この学校をよりよくするために」に書き込み、よりよい学校づくりのための自分の考えをまとめる。生徒会だよりで広報する。



中学校用P.116～117



中学校用P.118

具体的な取組事例

① アイアイ運動(愛のあいさつ運動)

生徒会執行部、学級代表が中心になり、毎朝校門であいさつ運動をする。また、全校集会や昼の放送等において、あいさつの励行を呼び掛ける。

② 学校クリーン作戦

生徒会委員会が呼び掛け、ボランティアを募り、放課後、トイレや階段、廊下などの校内清掃活動を行う。



③ 垂れ幕作成

生徒会委員会が中心になり、行事を盛り上げるため、垂れ幕を作成し、校舎壁面に掲示する。

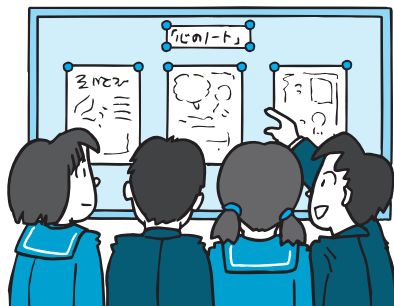
学校行事で活用する

学校行事への意欲を高め、そのときの思いを温めるために

本場面におけるポイント

●学校行事の充実に生かす

学校行事は、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動であり、学校行事に意欲的に取り組むには、学級、学年、学校の子どもが信頼関係をもって同じ目標に向けて連帯感を高めることが大切である。したがって、「心のノート」の特に集団や社会とのかかわりに関するページを生かすことができる。



●各種活動への積極的参加の契機とする

「心のノート」をポスターとして生かして、工夫した掲示を心掛け、活動への参加意欲を高めるようにする。

●体育祭の事前・事後における活用事例

1 題材名 学校行事「体育祭」を成功させよう

2 ねらい

先輩から受け継いだ学校の伝統を大切に、子ども一人一人がその役割と責任を果たし学校行事に積極的に参加しようとする意欲を高める。

3 活動と「心のノート」活用の実際

事前

(1) 自分たちの学校の体育祭の特色や伝統について話し合う。

- ・抽選で縦割りの団を組織して団対抗で競技する。
- ・団対抗の応援合戦が白熱する。
- ・学級旗と団旗、応援歌を作る。
- ・生徒会も競技の企画、運営に参加する。
- ・一人一役の係の責任を果たす。



(2) 特色や伝統を受け継ぎ守って体育祭を成功させるためには、どんなことが大切かを考え発表する。

(3) 体育祭での自分の役割について考え、**中学校用P.106～107「集団の中の自分に胸を張れ!!」**に記入する。

※この中で子ども一人一人が「心のノート」に記述した内容をまとめ、学校だよりや掲示物で紹介するなどして、体育祭への雰囲気づくりをした。

事後

(1) 体育祭の感想を話し合う。

子どもの感想から

- ・各団の団長やリーダーなど3年生の活躍がすばらしかった。
- ・みんなが協力して作った応援歌や振り付けでの応援合戦が感動的だった。
- ・係の人たちの進行がなめらかだったので予定通りに進んだ。
- ・学級旗や団旗が工夫されていた。

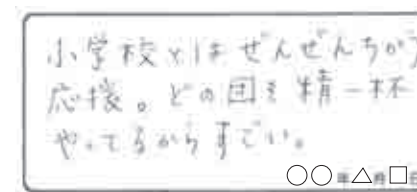
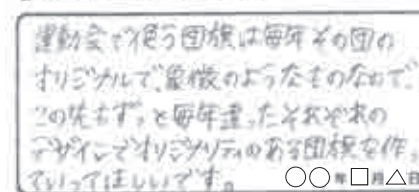
(2) 中学校用P.116～117「この学校が好き」を読む。

(3) 中学校用P.119「後輩に伝えていきたいこと」に記入する。

(4) 「心のノート」への記述内容を団ごとにまとめた掲示物を作成し、校内に掲示する。

体育祭について後輩に伝えていきたいことの記入例

後輩に伝えていきたいこと



●合唱コンクールへ向けた活用事例

1 題材名 すばらしい歌声をとどけよう

2 ねらい

合唱への取組を通して、一人一人を認め合い、目的に向かって協力してやり遂げることによる成就感や連帯感を味わうとともに、責任感と協力の態度を養う。

3 活動と「心のノート」活用の実際

(1) 合唱練習の状況についての感想や意見を出し合う。

- ・言葉をはっきり歌うことや強弱をつけることが大切だ。
- ・音がうまくとれない。・他のパートにつられてしまう。
- ・時々、ふざけてしまう。・練習準備に時間がかかる。



(2) 中学校用P.104～105「**集団、そして一人一人が輝くために**」を読み、「Free Space 感じたこと、考えたことを自由に書いてみましょう」に記入する。

(3) 「心のノート」への記述内容を生かした学級スローガンとともに「心のノート」のページを教室や廊下などに掲示する。



中学校用P.104～105

(4) 合唱コンクール当日、掲示物を会場にもっていき、全体の意欲を喚起する。

合唱コンクール、燃えた！
お互いを知り合えたし、協力することのすばらしさも知った。

わたしの喜びがみんなの喜びになり、みんなの喜びがわたしの喜びに感じられた。